

〈保護者記入用〉

※下記太枠内をご記入お願い致します。

登園届

幼保連携型認定こども園  
南幼稚園 園長

園児氏名

病名「 \_\_\_\_\_ 」と診断され、 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

医療機関名 \_\_\_\_\_ において、症状が回復し、集団生活に支障がない

と判断されましたので、登園いたします。

\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

保護者氏名

園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できることが大切です。

園児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届のご記入をお願いします。

感染力ある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団生活に適應できるようになってからの登園となるようにご配慮ください。

・医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症例

| 病名                       | 感染しやすい期間  | 登園のめやす                         |
|--------------------------|---|--------------------------------|
| 溶連菌感染症                   | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1～2日間                         | 抗菌薬内服後24～48時間が経過していること         |
| マイコプラズマ肺炎                | 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間                           | 発熱や激しい熱が治まっていること               |
| 手足口病                     | 手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間                            | 発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
| 伝染性紅斑（リンゴ病）              | 発疹出現前の1週間                                       | 全身状態がよいこと                      |
| ウイルス性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等） | 症状のある間と症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要） | 嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること      |
| ヘルパンギーナ                  | 急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているため注意が必要）            | 発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること |
| RSウイルス感染症                | 呼吸器症状のある間                                       | 呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと            |
| 帯状疱疹（ヘルペス）               | 水疱を形成している間                                      | 水痘と同様                          |
| 突発性発疹                    |   | 解熱し機嫌が良く、全身状態が良いこと             |

※新型コロナウイルス感染症

・医師の診断は必須ではないが、受診をおすすめする感染症例

| 病名          | 感染しやすい期間   | 登園のめやす  |
|-------------|------------|---|
| 伝染性膿痂疹（とびひ） | 湿潤な発疹がある場合 | 皮しんが乾燥しているか、湿潤部分が覆える程度のものであること・湿潤部分がある場合は被覆すること |
| 伝染性膿痂疹（とびひ） |            | 滲出液が出ているときは被覆すること                               |
| あたまじらみ      |            | 駆除を開始していること                                     |